



# 三重創生ファンタジスタ 資格認定副専攻ガイド | 2018

三重大学地域人材教育開発機構

Organization for the Development of Higher Education and Regional Human Resources

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

三重大学 総合研究棟Ⅱ 3階 地域人材教育開発機構チーム事務室

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/>

# はじめに

## 三重大学地域人材教育開発機構長 山本 俊彦

三重大学は、主として、人材養成や地域貢献を課題とする取り組みなどを通じて、地域に貢献するとともに、専門分野を配慮しつつ、強み・特色のある分野で、世界ないし全国的な教育・研究を推進する方向に軸足を置いて、機能強化や組織再編を進めていこうとしています。こうした地域のイノベーション大学・中核大学としての取り組みの一つが「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」です。

三重大学のCOC+は、三重県における雇用の創出と若年層の県内就職率の向上につながる持続可能な地域の活性化と開発の方向を「食と観光分野」、「次世代産業分野」、「医療・健康・福祉分野」の3つで捉え、各々の分野をリードできる「ファンタジスタ(柔軟で豊かな創造力に富んだ発想と行動のできる人材)」を養成することを狙いとしています。具体的には、「地域志向科目群」、「地域実践交流科目群」、「地域イノベーション学科科目群」の3つのステージで構成する「三重創生ファンタジスタ」資格認定副専攻コースを全学部・全学科で展開し、三重県の現状を熟知し、三重県の地域や産業の課題の発見と解決方法を地域や現場の人たちと多面的なコミュニケーションを図りながら、産・官・学・民が一体となったオール三重体制を構築し、今後の三重県を展望しつつ、三重県の新時代を切り開くことのできる人材を育成しようとするものです。

地域及び地域産業の活性化や創生のためには、地域に生まれ育った学生が、地域の課題を自分たちの現在と未来の問題としてとらえ、意欲的・意志的に問題の発見と課題の解決に関与するようになることが重要になります。したがって、資格認定副専攻の3つのステージと科目群は、「知る」(再発見・再認識)―「学ぶ」(体験・経験を通して学ぶ)―「考える」(再構成・発信)という体系として構成し、理論と現場実践を往還させるプログラムであることを重視しています。

## index

03	副専攻コースとは 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) COC:Center of Community
04	三重創生ファンタジスタ資格とは 三重創生ファンタジスタ/対象学年
05	副専攻コースの仕組み 3つの科目群とは 地域志向科目群/地域実践交流科目群/地域イノベーション学科科目群
07	カリキュラムマップ
08	履修登録手続き
09	資格認定までの大きな流れ 平成30年度授業科目一覧
10	教養教育院
11	人文学部
12	教育学部
13	医学部
14	工学部
15	生物資源学部
17	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目紹介 平成30年度履修モデル紹介
19	人文学部
21	教育学部
22	医学部
23	工学部
25	生物資源学部
27	三重創生ファンタジスタクラブ 三重創生ファンタジスタ資格啓発動画
28	副専攻コースにおける相談窓口・提出窓口
29	よくある質問
31	平成30年度三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コース意向届
32	よくある質問

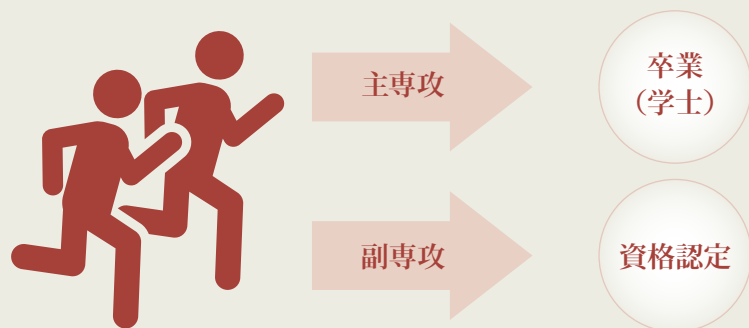


## 三重創生ファンタジスタ 資格認定副専攻ガイド

### 副専攻コースとは

三重大学では、平成28年度より、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) (※)」のもと、『三重創生ファンタジスタ』を養成すべく、資格認定副専攻コースが設立されました。

副専攻コースとは、自分の所属する学部・学科の履修案内等に記載される「卒業単位数」で認定される教育カリキュラム(学生自身が所属する学部＝主専攻)とは異なり、学部を越えて学ぶことができる科目を含む教育カリキュラムのことを言います。学部・学科は関係なく、希望した全学生が資格認定副専攻コースを受講できます。三重創生ファンタジスタ資格取得にかかわる授業科目の多くは、教養教育院及び各学部・学科の卒業単位としても位置づけられていますが、一部の科目については、卒業単位としてはカウントされないものもあります。また、卒業単位を超えて履修することになるものもあります。三重創生ファンタジスタ資格は、主専攻で定められている卒業に必要な単位を全て修得しなければ、資格認定副専攻コースの資格認定はされません。



修了者には認定書を発行

※ 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) COC:Center of Community

大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援するもの。

### 三重創生ファンタジスタ資格とは

資格認定副専攻コースの大きなメリットは、主専攻で学修した内容の補強や主専攻以外の第二の強みを獲得できることは勿論のことですが、何よりも『三重創生ファンタジスタ』という資格が学内で認定されることにあります。『三重創生ファンタジスタ』とは次のような人材を指します。

#### 三重創生ファンタジスタ

地域の課題に関してさまざまな主体と多面的な視点から対話しながら地域のイノベーションを推進できる人材

状況や事態を的確に把握し、複眼的な視点から柔軟で創造力に富んだ発想や思考ができ、行動力とリーダーシップを発揮しながら、周りの人と協働できる人材

以降で示す、3つの分野の『三重創生ファンタジスタ』に認定されると、「三重大学 資格認定副専攻コース修了認定書」が発行されます。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は県や市町、県内地方公共団体や企業等と協働して実施する事業ですので、県内就職先に認知されており、様々な場面でアピールすることが可能です。

#### 対象学年

『三重創生ファンタジスタ』資格認定副専攻コースを受講できる学生は、平成28年度以降の入学生が対象です。平成28年度編入生及びそれ以前の入学生、編入生は対象となりませんので、注意してください。

## 副専攻コースの仕組み

『三重創生ファンタジスタ』は特に3つの分野である「食と観光」、「次世代産業」、「医療・健康・福祉」に強い人材を育てることを目標としています。また各分野には、テーマに即した科目のラインナップが用意されています。具体的には、「地域志向科目群」、「地域実践交流科目群」、「地域イノベーション学科目群」の3つの科目群が用意されており、そこから12単位以上(各科目群における必要最低単位は要修得)修得することで、各分野における地方創生のエンジンとして活躍できる人材が育成されるようになっていきます。

### 3つの科目群とは

資格認定副専攻コースは、3つのステージに分けており、段階的にステップを踏むことで、学びが体系化されるようになっていきます。各科目群の趣旨、概要は次のとおりです。

#### 01 地域志向科目群 (4単位以上)

三重県全体の課題や取組を『知る』ことに主眼を置いており、三重県や地元を再発見し、再認識するための科目群です。また、教養教育の必修科目である「スタートアップセミナー」を位置づけており、地域課題の解決方法を模索したビデオ教材を視聴し、グループ毎に討論することになります。

##### 地域志向科目群で育つ資質、能力

- 地域や産業の実情について学び、地域創生やソーシャルイノベーションの必要性や重要性についての認識を広げる。
- 三重県の自然・地理、歴史・文化、産業・経済、観光、教育、医療・介護福祉などについて学び直し、三重県の今とこれからのための問題意識を深める。
- 創造力、問題発見・探求力、郷土愛(郷土に対する興味と関心)を養う。

#### 02 地域実践交流科目群 (2単位以上)

地域志向科目群で発見した三重県全体の課題について、特に興味を持った分野の課題を実際に体験することで、より身近に課題を感じることが出来ます。また、課題解決に向けた取組を体感し、実際に周りと協働して提案する等、主体的に課題に向き合うことが出来ます。

##### 地域実践交流科目群で育つ資質、能力

- 地域に入り、さまざまな分野や地域の活動に参加・参画することを通して、現状や課題を体験的に理解するとともに、背後にある三重県の特徴や特質についての理解を深める。
- コミュニケーション力、実践・行動力、情報収集・分析力、理解・判断力を養う。

#### 03 地域イノベーション学科目群 (2単位以上)

地域志向科目群で課題を発見し、地域実践交流科目群で主体的に課題解決に向けて提案することで、今までの自分自身の価値観、考え方が変わり、周りの考え方との差異に気付くこととなります。地域イノベーション学科目群では、異なった価値観、考え方を再構成し、幅広い視野を手に入れることで、柔軟な思考が出来るようになることを目的としています。

##### 地域イノベーション学科目群で育つ資質、能力

- 地域や個々の現場における課題や問題を踏まえながら、また、地域の人と協働しながら、地域や産業の活性化や再生、創生や創出に向けたプロジェクトや共同研究を組織し、具体的なアイデアやプランを提起・提案できるようになる。
- 地域開発や地域創生等にかかわる特定の学問分野(経済学、統計学、行政学、マーケティング論、環境科学論等々)について学び、実践と理論の融合を図る。
- 柔軟な発想・構想力、複眼的・俯瞰的な思考、企画・計画力、リーダーシップを養う。

# カリキュラムマップ

履修イメージ図(平成28年度以降入学生対象)

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	備考
地域志向科目群 (4単位以上)	① スタートアップセミナー (必修科目・2単位)								1年次前期に開催される スタートアップセミナー (必修)を受講する。
		その他地域志向科目群 授業一覧から1科目 (2単位)以上							あくまでも学年は 目安であり、他の学年で 修得しても認定される。
地域実践交流 科目群 (2単位以上)			地域実践交流科目群から1科目 (2単位)以上						あくまでも学年は 目安であり、他の学年で 修得しても認定される。
地域イノベーション学 科目群 (2単位以上)					地域イノベーション学科目群から1科目 (2単位)以上				あくまでも学年は 目安であり、他の学年で 修得しても認定される。
3つの科目群から12単位以上修得									

資格取得説明会

「学びの振り返り・成果」提出(12単位修得後)

## 履修登録手続き

副専攻コースは、①地域志向科目群(4単位以上)②地域実践交流科目群(2単位以上)③地域イノベーション学科目群(2単位以上)からそれぞれ定められた単位数を修得することで、資格認定されます。また、その際、どの分野を体系的に学ぶかによって、資格認定された際の名称が異なります。

三重創生ファンタジスタ  
(食と観光)

三重創生ファンタジスタ  
(次世代産業)

三重創生ファンタジスタ  
(医療・健康・福祉)

資格認定副専攻コースの登録を希望する場合は、「意向届」を地域人材教育開発機構(後述27ページ)へ提出してください。「意向届」の提出をもって、三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コースの登録を認めます。なお、意向届には登録を希望する分野を、下記の中から選択して記入してください。また、地域実践交流科目群と地域イノベーション学科目群については、登録した分野の授業科目を必ず選択してください。

### 分野

食と観光

次世代産業

医療・健康・福祉

### 履修登録に伴う注意事項

- 本冊子に記載の科目リストは、今後科目を変更する場合があります。その際は、地域人材教育開発機構から案内がありますので、その指示に従ってください。
- 履修モデルに記載の科目についても、科目を変更する可能性があります。その際も、地域人材教育開発機構からの指示に従ってください。
- 本冊子の記載事項についての修正、もしくは記載のない事項について地域人材教育開発機構から連絡があった場合は、その指示に従ってください。
- 他学部の授業の履修を希望するときは、地域人材教育開発機構チーム事務室へ相談して下さい。



# 資格認定までの大きな流れ

資格認定までの大きな流れ

## 三重創生ファンタジスタ

※資格認定は卒業時(就職活動時には資格取得見込証明書を発行)

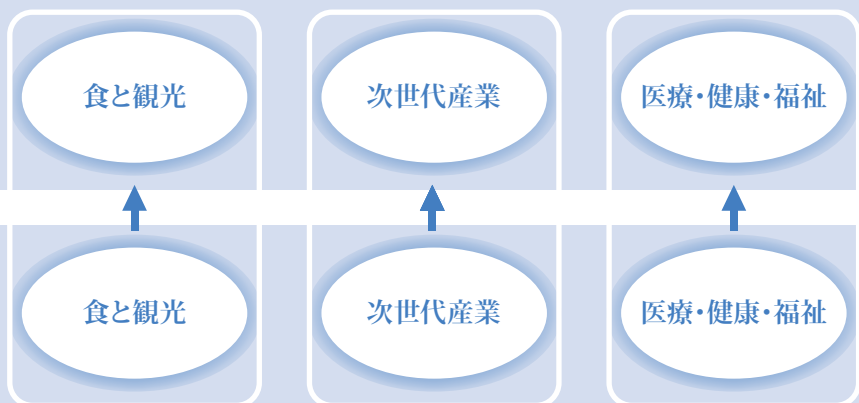


資格認定の申請

合計12単位を修得後、「学びの振り返り・成果」を提出



地域イノベーション学科科目群から2単位以上修得(必ず自身が登録した分野の科目を選択する)



地域実践交流科目群から2単位以上修得(必ず自身が登録した分野の科目を選択する)

地域志向科目群から4単位以上(スタートアップセミナー+2単位以上)修得

意向届を提出(分野の登録)

説明会への参加

# 平成30年度授業科目一覧

※ 以下の科目は平成30年度対象の科目であり、平成31年度以降、科目が変更される可能性があります。  
 ※ 「スタートアップセミナー」は全学必修科目であるため、「平成30年度授業科目一覧」には記載していません。

## 教養教育院

※1. 他学部生等の受講

科目群	分野	授業科目名	テーマ	教員名	単位	※1	備考
地域志向	-	環境科学	ISO環境管理学	佐藤 邦夫 他	2	-	
	-	日本文化論B	日本の海女文化	塚本 明 他	2	-	
	-	生物資源学A	食と農	波多野 豪 他	2	-	
	-	日本理解特殊講義S	地域の仕事を知る	西村 訓弘 他	2	-	
	-	地域と仕事	地域の仕事を知る	西村 訓弘 他	2	-	キャリア教育領域科目
	-	医学医療B	臨床医学の最近の話題	影山 慎一 他	2	-	
	-	日本史C	江戸時代の古文書	塚本 明	2	-	
	-	医学医療B	急病の観察と判断	丸山 一男	2	-	
	-	三重学	「四日市学」の確立	朴 惠淑 他	2	-	
	-	キャリアプランニング入門	キャリアデザイン	長谷川 岳雄	2	-	キャリア教育領域科目 前後期開講
	-	キャリア形成論	考える&伝える技術	長谷川 岳雄	2	-	キャリア教育領域科目
	-	現代社会理解実践	環境インターンシップ	平山 大輔 他	2	-	
	-	環境科学	環境化学	廣瀬 和久	2	-	
	-	日本史B	忍者の歴史	山田 雄司	2	-	前後期開講
	-	現代社会理解特殊講義	MIEUポイント	山村 直紀 他	2	-	前後期開講
	-	医学医療C	現代社会と健康	仁尾 かおり 他	2	-	
	-	スポーツ健康科学概論	-	保健体育担当教員	2	-	
	-	現代社会理解特殊講義	男女共同参画基礎	尾西 康充 他	2	-	
	-	三重学	三重の社会と文化	正路 真一	2	-	英語で実施する授業 前後期開講 国際交流センター開放科目(10名) 受講人数制限(30名)
	-	人文地理学C	津市フィールドワーク	安食 和宏	2	-	
	-	医学医療C	いたみの科学	丸山 一男 他	2	-	
	-	医学医療入門	医の倫理と社会的課題	福録 恵子 他	2	-	
	-	国際保健と地域医療	世界の地域保健と医療	堀 浩樹 他	2	-	
-	地域防災論	三重県の防災と復興	宮岡 邦任 他	2	-		
-	防災論	自然災害と防災・減災	川口 淳 他	2	-		
-	企業研究入門	企業・社会人を知る	長谷川 岳雄	2	-	キャリア教育領域科目	
-	現代社会理解実践S	障がい学生への支援	栗田 季佳 他	2	-		
-	障がい学生支援実践	障がい学生への支援	栗田 季佳 他	2	-	キャリア教育領域科目	
-	知財学	発明学入門	松岡 守 他	2	-	キャリア教育領域科目	
-	三重学	三重ブランドの創出	朴 惠淑 他	2	-		
-	環境科学	海に親しむ	前川 陽一 他	2	-	受講人数制限(24名)	
-	自然科学概論	森は生きている	沼本 晋也 他	2	-	受講人数制限(20名)	
-	生物資源学A	土は生きている	奥田 均 他	2	-	受講人数制限(20名)	
-	日本理解特殊講義	三重の歴史と文化	鈴木 幸子 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目	
-	現代社会理解特殊講義	三重の産業	鈴木 幸子 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目	
-	日本文学B	忍者像の形成と変遷	吉丸 雄哉	2	-		
-	日本学	芸能にみる日本らしさ	前田 憲司(非常勤)	2	-	前後期開講	
-	政治学A	日本の政治と地方自治	樹神 成	2	-		
-	経済学G	観光と環境の経済学	朝日 幸代	2	-		
地域実践交流	F	三重学	食と観光実践	富樫 健二 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目 受講人数制限(20名)
	N	現代社会理解実践	次世代産業実践	富樫 健二 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目 受講人数制限(20名)
	C	インターンシップ入門	インターンシップ	長谷川 岳雄	2	-	
	C	演劇入門	演劇の基礎知識と実践	吉丸 雄哉	2	-	
地域イノベーション学	C	現代社会理解実践	地域発見型インターン	鈴木 幸子 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目 受講人数制限(30名)
	C	現代社会理解特殊講義	三重の地場産業	富樫 健二 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目 受講人数制限(6名)

F→食と観光分野、N→次世代産業分野、M→医療・健康・福祉分野、C→上記各分野に関連

平成30年度授業科目一覧

教養教育院

## 人文学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考	
志地 向域	-	環境学概論	朴 恵淑	2			
	-	地域から考える文化と社会	各学科長(代表)	2			
地域 実践交流	C	専門PBLセミナーA	法律経済学科教員	2			
	C	専門PBLセミナーB	法律経済学科教員	2			
	M	福祉経済論	石塚 哲朗 他	4			
	F	日本の歴史F	塚本 明	2			
	F	日本歴史演習G	塚本 明	2			
	F	日本歴史演習H	塚本 明	2			
	C	自然環境論A	朴 恵淑	2			
	M	社会保障論	石塚 哲朗 他	2	○		
	C	地方自治論	岩崎 恭彦	4	○	他学部生10名まで	
	C	行政法総論	前田 定孝	4	○	他学部生10名まで	
	C	財政学	川地 啓介	4	○	他学部生10名まで	
	C	産業経済論総論	豊福 裕二	4	○	他学部生20名まで	
	C	日本経済論	森 久綱	4	○	他学部生20名まで	
	C	地域経済論	朝日 幸代	4	○	他学部生10名まで	
	C	経営学総論	青木 雅生	4	○	他学部生10名まで	
	C	日本の歴史A	山田 雄司	2			
	C	日本の歴史B	山田 雄司	2			
	F	日本の風土と地誌A	森 正人	2			
	F	日本の風土と地誌B	森 正人	2			
	C	政策過程論	樹神 成	2			
	N	金融論	野崎 哲哉	4			
	地域 イノベーション学	C	産業経済論総論演習	豊福 裕二	4		
		C	日本経済論演習	森 久綱	4		
		C	地域経済論演習	朝日 幸代	4		
		C	経営学総論演習	青木 雅生	4		
		M	福祉経済論演習	石塚 哲朗 他	4		
		C	地方自治論演習	岩崎 恭彦	4		
C		行政法演習	前田 定孝	4			
C		財政学演習	川地 啓介	4			
F		日本歴史総合演習A	塚本 明 他	2			
F		日本歴史総合演習B	塚本 明 他	2			
C		日本経済論特論	森 久綱	2	○		
F		歴史学概論B	塚本 明	2	○	他学部生10名まで	
F		日本地誌演習A	森 正人	2			
F		日本地誌演習B	森 正人	2			
M		経済原論演習	深井 英喜	4			
C		政治思想史演習	麻野 雅子	4			
M		刑法演習	田中 亜紀子	4			
N		多国籍企業論演習	森原 康仁	4			
N		金融論演習	野崎 哲哉	4			
C		行政学演習	樹神 成	4			

F→食と観光分野、N→次世代産業分野、M→医療・健康・福祉分野、C→上記各分野に関連

## 教育学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考	
地域 志向	-	消費者教育論	吉本 敏子	2	○		
	-	食生活論	平島 円	2			
	-	特別支援教育観察参加	松浦 直己、郷右近 歩、栗田 季佳、森 浩平	2			
	-	教育実地研究基礎	松浦 直己、郷右近 歩、栗田 季佳、森 浩平	1			
	-	技術学概論	松岡 守、魚住 明生、松本 金矢、中西 康雅	1			
	-	工場見学	松岡 守	1			
	F	調理実習II	平島 円	1			
	N	食品学	磯部 由香	2			
	F	教育実地研究基礎	魚住 明生	1			
	N	教職実践演習	松岡 守、魚住 明生、松本 金矢、中西 康雅	2			
地域 実践交流	M	知的障害者の教育と福祉	栗田 季佳、森 浩平	2			
	M	教育実地研究基礎	保体教員	1			
	M	レクリエーションスポーツ	大隈 節子	1			
	M	野外運動I	岡野 昇	1			
	M	衛生学及び公衆衛生学	重松 良祐	2			
	C	健康管理学	富樫 健二	2	○		
	M	教育実地研究基礎	後藤 太一郎、牧原義一、國仲寛人、市川俊輔、平山大輔、伊藤信成、栗原行人、荻原彰、平賀伸夫	1			
	M	野外実習	後藤 太一郎、平山 大輔	2			
	M	教育実地研究基礎	富田 昌平	1			
	M	保育内容総論	吉田 真理子	2			
	M	地学実験I	伊藤 信成	2			
	M	地学実験II	栗原 行人	2			
	F	教育実地研究基礎	藤田 達生、社会科教育講座教員	1			
	N	美術教育特講I	山田 康彦、関 俊一	2			
	地域 イノベーション学	F	食物学実験	磯部 由香	1		
		F	食品材料学	磯部 由香	2		
		N	機械工学概論	松本 金矢	1		
		N	電気工学概論	松岡 守	1		
		N	木材工学概論	中西 康雅	1		
		N	金属加工学概論	中西 康雅	1		
N		情報工学概論	非常勤講師	1			
M		教育実地研究	松浦 直己、菊池 紀彦、郷右近 歩、栗田 季佳、森 浩平	1			
M		教職実践演習	松浦 直己、菊池 紀彦、郷右近 歩、栗田 季佳、森 浩平	2			
C		健康管理学演習	富樫 健二	1	○		
M		衛生学及び公衆衛生学演習	重松 良祐	1			
M		教職実践演習	岡野 昇、加納 岳拓	2			
M		教育実地研究	後藤 太一郎、牧原義一、國仲寛人、市川俊輔、平山大輔、伊藤信成、栗原行人、荻原彰、平賀伸夫	1			
M		理科教育法II	荻原 彰、平賀 伸夫	2			
M		保育の心理学演習	富田 昌平	1			
M		保育相談支援	富田 昌平	1			
N	美術教育特講II	山田 康彦、関 俊一	2				

F→食と観光分野、N→次世代産業分野、M→医療・健康・福祉分野、C→上記各分野に関連

## 医学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考
地域志向	-	食生活論	樋廻 博重	1	○	当科目の受講に相応しい生化学・栄養学の知識を持つ学生が対象。
	-	災害看護学	西出 りつ子 他	1	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。
	-	公衆衛生看護学I	畑下 博世、西出 りつ子、水谷 真由美	3	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。
地域実践交流	M	医療と社会	竹村 洋典 他	4		
	M	地域基盤型保健医療教育実習	堀 浩樹 他	4		
	M	社会と医学	益島 茂、村田 真理子、那谷 雅之 他	3		
	M	小児看護学II	村端 真由美、仁尾 かおり 他	1		
	M	成人看護学実習II	辻川 真弓 他	4		
	M	老年看護学実習II	磯和 勲子 他	2		
	M	精神保健看護論	片岡 三佳 他	1	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。
イ地域ノベーション学	M	公衆衛生看護学II	西出 りつ子、畑下 博世、水谷 真由美	4	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。
	M	臨床実習	各診療科教員	60		
	M	看護システム論II	今井 奈妙	1		
	M	統合実習I	統合実習I担当教員 他	2		
	M	統合実習I(地域看護学)	畑下 博世、西出 りつ子、水谷 真由美	2	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。

F→食と観光分野、N→次世代産業分野、M→医療・健康・福祉分野、C→上記各分野に関連

## 工学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考	
地域志向	-	機械工学フレッシュマンゼミナール	各教員	1			
	-	機械運動学	野村 由司彦	2			
	-	交通機械	竹市 直、松本 光一郎、川辺 真希子	2			
地域実践交流	N	工場実習	各教員	1			
	N	工場見学	各教員	1			
	N	工場見学	各教員	1			
	N	工場見学	各教員	1			
	N	工場見学	各教員	1			
	N	企業見学	各教員	1			
	N	インターンシップ	那須 弘行	1			
	N	インターンシップI	各教員	1			
	N	インターンシップI	各教員	1			
	N	インターンシップII	各教員	2			
	N	インターンシップII	各教員	1			
	F	まちづくり工学	浦山 益郎、浅野 聡	2			
	F	建築学実習	全教員(建築学科)	1			
	N	生産システム工学	田中 信弥、山本 直樹、石井 裕、長谷 浩一	2			
	N	知的財産権概論(特別講義II)	狩野 幹人、八神 寿徳	1			
	N	環境流動学	安藤 俊剛	2			
	N	流体機械システム工学	鎌田 泰成	2			
	N	精密工学	高橋 裕	2			
	N	計測工学及び演習	早川 聡一郎	2.5			
	N	数値熱流体力学	辻本 公一	2			
	N	機械設計	松井 博和	2			
	N	エネルギー変換工学II	廣田 真史	2			
	N	半導体工学	平松 和政	2			
	N	材料科学	三宅 秀人、松井 龍之介、青木 裕介、元垣内 敦司	2	○		
	地域イノベーション学	N	情報通信工学	森 香津夫	2		
		N	計算機工学I	高瀬 治彦	2		
		N	計算機工学II	鶴岡 信治	2	○	
N		制御工学I	弓場井 一裕	2	○		
N		電気機器工学	石田 宗秋	2			
N		電気電子工学特別講義I	各教員	2			
N		電気電子工学特別講義II	各教員	2			
N		資源利用化学	金子 聡	2			
N		工業化学概論	横森 万 他	2			
N		分子素材工学特別講義I	古川 博章	1			
N		分子素材工学特別講義II	川端 成彬	1			
N		分子素材工学特別講義III	横森 万	1			
N		分子素材工学特別講義IV	熊谷 純	1			
F		地域計画	浦山 益郎	2			
F		建築防災工学	畑中 重光、花里 利一	2			
F		都市設計	浅野 聡	2			
F		ファシリティマネジメント	加藤 彰一、大月 淳	2			
F		建築企画設計	各教員	2			
N		人工知能I	井須 尚紀	2			
N		人工知能II	河合 敦夫	2			
N		情報工学実験I	各教員	2			
N		情報工学実験II	各教員	2	○		
N		特別講義I	各教員	2			
N		量子物理学	松永 守	2			
N		材料科学	伊藤 智徳	2			
N		物性物理学	内海 裕洋	2			
N		トライボロジー	中村 裕一	2			
N	電磁気学II	竹尾 隆	2				
N	アナログ電子回路工学	藤原 裕司	2				

F→食と観光分野、N→次世代産業分野、M→医療・健康・福祉分野、C→上記各分野に関連



生物資源学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考	
地域志向	-	生物資源学総論	坂本 竜彦、松村 直人、松尾 奈緒子、 亀岡 孝治、神原 淳、田丸 浩、梅川 隼人	2			
地域実践交流	F	フィールドサイエンスセンター農場実習III	奥田 均、長菅 輝義、三島 隆	1			
	F	フィールドサイエンスセンター演習林実習VI	沼本 晋也	1			
	F	グローバル資源利用学チュートリアル	松井 隆宏 他	2			
	F	社会調査演習	徳田 博美 他	4			
	F	フィールドサイエンス実習	加治佐 隆光 他	1			
	F	実践農業土木学	農業土木学教育コース主任	2			
	F	公共事業インターンシップ	農業土木学教育コース主任	1	○		
	N	未来地球システム学	坂本 竜彦	2	○		
	N	生物情報工学	亀岡 孝治	2			
	N	エネルギー利用学	鬼頭 孝治	2			
	N	ベンチャー企業論	小村 道昭(非常勤)	2	○		
	M	生物地球化学	松尾 奈緒子	2	○		
	M	植物・土壌と水	渡辺 晋生	2			
	M	環境土壌学実験	渡辺 晋生 他	1			
	M	陸海空・環境科学実習	松村 直人 他	1	○		
	M	気象・水文・水資源学	葛葉 泰久	2			
	F	魚類種苗生産学実習	吉岡 基・淀 太我	2			
	M	食品化学	磯野 直人	2			
	M	栄養化学	西尾 昌洋	2	○		
	F	微生物学	畑田 修一、木村 哲哉	2	○		
	F	微生物利用学	福崎 智司、畑田 修一、木村 哲哉	2			
	F	マリンフードプロセス実習	福崎 智司、青木 恭彦	1			
	N	海洋生命分子化学実験3	田丸 浩、柴田 敏行	1			
	C	基礎土質力学	酒井 俊典	2			
	C	フィールド地質学	相澤 泰造(非常勤)	2			
	F	藻類学	倉島 彰	2			
	F	食料・資源経済学I	中島 亨	2	○		
	C	自然環境リテラシー学	坂本 竜彦	2	○		
	地域イノベーション学	F	農林学総論	石川 知明、長屋 祐一	2		
		F	作物学	梅崎 輝尚	2	○	
		F	園芸学	平塚 伸	2	○	
		F	森林利用・情報学	石川 知明、板谷 明美	2		
F		森林・緑環境計画学	松村 直人	2			
F		地域社会論	波野野 豪	2	○		
F		水産経済学	常 清秀	2			
F		簿記会計演習II	平岩(非常勤)	2			
F		食料・資源経済学II	松井 隆宏	2			
F		農林統計学	山田 佳廣 他	2			
F		農業土木学キャリアアップ演習	農業土木学教育コース主任	2			
N		ローカル気象学	立花 義裕	2	○		
N		環境計測実験	伊藤 良栄 他	1			
N		食料生産システム学	佐藤 邦夫	2			
N		農業食料工学実験	環境情報システム学講座教員	1			
M		フードシステム学	亀岡 孝治	2	○		
M		自然災害科学	葛葉 泰久	2	○		
F		水産学総論	海洋生物資源学教育コース教員	2			
F		水産飼餌科学	吉松 隆夫	2			
M		生命機能化学実験実習6	生命機能化学講座教員	1			
M		生物プロセス工学	非常勤講師	2			
F		食品工学	橋本 篤	2	○		
F		食品安全化学	亀井 誠(非常勤講師)	2			
F	水産食品衛生学	青木 恭彦	2	○			
N	遺伝子工学	田丸 浩	2	○			
N	バイオインフォマティクス	船原 大輔	2	○			
N	海洋資源微生物学	田中 礼士	2	○			

F→食と観光分野、N→次世代産業分野、M→医療・健康・福祉分野、C→上記各分野に関連

～ Memo ～

## 三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目紹介

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限
地域志向科目群	日本理解特殊講義(三重の歴史と文化)	前期 水曜9・10限
<p><b>授業の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本授業は、大学が立地する三重について、               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 歴史の概要と特色</li> <li>② 先人の努力の足跡と現代に通ずる先見性</li> <li>③ 将来の大交流時代に内外に発信できる三重の魅力と課題を学ぶものである。</li> </ol> </li> <li>● 授業は、通常の講義に加え、個々のテーマに精通したゲストスピーカーを迎え、その知見や体験を織り交ぜて進めることとしている。</li> </ul>		
<p><b>担当教員から一言</b></p> <p>ご縁があって入学した三重大学、学びの場は大学の扉の中だけではありません。豊富で多彩な文化がある三重について、地域のたくさんの先輩があなた方に語りかけます。あなたの未来づくりに役立ててください。</p>		

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限
地域志向科目群	現代社会理解特殊講義(三重の産業)	後期 水曜9・10限
<p><b>授業の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本授業は、科学技術の発展や国際化、健康志向、高齢化等の時代の趨勢等を踏まえ、               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 三重の産業の特色</li> <li>② 次世代の製造業</li> <li>③ 農林水産業の動向と技術革新</li> <li>④ 医療・介護問題の製造業・情報サービスを学ぶものである。</li> </ol> </li> <li>● 授業は、通常の講義に加え、個々のテーマに精通したゲストスピーカーを迎え、その知見や体験を織り交ぜて進めることとしている。</li> </ul>		
<p><b>担当教員から一言</b></p> <p>三重は工業、農林水産業の両面において、一流の実力を持っています。それを支える先輩が未来の成長分野について抱負を語ります。皆さんのライフプランに役立ててください。</p>		

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限
地域実践交流科目群	三重学(食と観光実践)	前期集中
<p><b>授業の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本授業の特徴は、合宿型(2泊3日)かつ、3~5人のグループワークを通して地域課題(「食と観光」)を発見し、それについて深い分析・考察を加え、その成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元する素養を修得する点にある。</li> </ul>		
<p><b>担当教員から一言</b></p> <p>三重県における社会的事象(ポストサミット、レガシーの活用、少子高齢化、人口減少、等)を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究しましょう。最先端の地域課題は現場にこそ存在します。</p>		

地域人材教育開発機構では、「三重県内を深く知り、三重県で活躍したい」と考える学生をより効果的に養成するため、三重創生ファンタジスタ専任教員が様々な県内関係者と協働し、平成30年度は6つの科目を開講します。各授業の詳細は下記のとおりです。シラバスもチェックして、積極的に受講してください。

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限
地域実践交流科目群	現代社会理解実践(次世代産業実践)	前期集中
<p><b>授業の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本授業の特徴は、合宿型(2泊3日)かつ、3~5人のグループワークを通して地域課題(「次世代産業」)を発見し、それについて深い分析・考察を加え、その成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元する素養を修得する点にある。</li> </ul>		
<p><b>担当教員から一言</b></p> <p>三重県における社会的事象(次世代産業、ものづくり産業、等)を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究しましょう。最先端の地域課題は現場にこそ存在します。</p>		

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限
地域実践交流科目群	現代社会理解実践(地域発見型インターン)	前期集中
<p><b>授業の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本授業は、県内企業へのインターンシップを通じて、学生の職業観の醸成や仕事への理解を深めていくとともに、県内の優れた中小企業を発見し、その企業について詳しく学んでいく体験型授業である。</li> <li>● 事前学習では、企業の若手社員と学生がざくばらんに意見交換する「Jobキャラバン」や、インターンシップに関するワークショップなどを実施する。</li> <li>● 8月には、「見学型」のインターンシップを実施し、企業に対して取材を行う。最後に、企業への取材内容や本授業で学んだことをまとめ、報告することで、表現力やプレゼンテーション力も身に付けていく。</li> </ul>		
<p><b>担当教員から一言</b></p> <p>三重県には、あまり知られていないけど優れた技術や商品・サービスを持つ中小企業がたくさんあります。地域の優良企業を発見するとともに、本授業が、皆さんの将来の進路を考える際の一助となれば幸いです。</p>		

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限
地域イノベーション学科科目群	現代社会理解特殊講義(三重の地場産業)	後期集中
<p><b>授業の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本授業の特徴は、三重県の地場産業に焦点をあて、個々の地場産業の実態に詳しいゲストスピーカーの講義と現場見学を通じて、地場産業への理解を深め、各産業が抱える課題の発見と、それへの実現可能な解決策を提案する能力を修得する点にある。</li> </ul>		
<p><b>担当教員から一言</b></p> <p>三重県には古くから地域に根づき地域経済を支えてきた地場産業があります。地場産業の現状や課題を深く知ることを通して、三重県の理想的な地域のあり方を探究しましょう</p>		

# 平成30年度履修モデル紹介

※ 以下の科目は平成30年度対象の履修モデルであり、平成31年度以降、履修モデルが変更される可能性があります。

※ 「スタートアップセミナー」は全学必修科目であるため、履修モデルには記載していません。

## 人文学部

ねらい：三重県の地域産業の活性化を考える（食と観光）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	産業経済論総論	4	豊福 裕二	
地域イノベーション学科目群	3年	産業経済論総論演習	4	豊福 裕二	

ねらい：三重県の食と農を考える（食と観光）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	日本経済論	4	森 久綱	
地域イノベーション学科目群	3年	日本経済論演習	4	森 久綱	

ねらい：三重県の地域観光の活性化を考える（食と観光）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育科目担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	地域経済論	4	朝日 幸代	
地域イノベーション学科目群	3年	地域経済論演習	4	朝日 幸代	

ねらい：地域と共に生きる企業のあり方を考える（次世代産業）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	1～4年	経営学総論	4	青木 雅生	
地域イノベーション学科目群	3年	経営学総論演習	4	青木 雅生	

ねらい：三重県の社会保障を考える（医療・健康・福祉）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	福祉経済論	4	石塚 哲朗 他	
地域イノベーション学科目群	3年	福祉経済論演習	4	石塚 哲朗 他	

ねらい：観光資源としての三重の歴史文化を考える（食と観光）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	日本文化論B（テーマ：日本の海女文化）	2	塚本 明 他	教養教育科目
地域実践交流科目群	1年	日本史C（テーマ：江戸時代の古文書）	2	塚本 明	教養教育科目
	2～4年	日本の歴史F	2～6	塚本 明	
地域イノベーション学科目群	2～4年	日本歴史演習G・H	2～8	塚本 明	
	4年	歴史学概論B	2	塚本 明	
地域イノベーション学科目群	4年	日本歴史総合演習A・B	2～4	塚本 明 他	

ねらい：自治体と住民とのかわりに即しながら、地方自治の重要性や地方分権の意義を考える（医療・健康・福祉）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	地方自治論	4	岩崎 恭彦	
地域イノベーション学科目群	3年	地方自治論演習	4	岩崎 恭彦	

ねらい：地域とともに生きる市民と行政がはたすべき役割、法を考える（医療・健康・福祉）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	行政法総論	4	前田 定孝	
地域イノベーション学科目群	3年	行政法演習	4	前田 定孝	

ねらい：地域とともに生きる市民と企業の公共政策を考える（医療・健康・福祉）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	財政学	4	川地 啓介	
地域イノベーション学科目群	3年	財政学演習	4	川地 啓介	

ねらい：地域と共に生きる企業および地域金融機関のあり方を考える（次世代産業）

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	金融論	4	野崎 哲哉	
地域イノベーション学科目群	3年	金融論演習	4	野崎 哲哉	

## 教育学部

ねらい：三重の新しい食を考える(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	消費者教育論	2	吉本 敏子	三重の食に関する行政の役割
	1年	食生活論	2	平島 円	三重の食文化について
地域実践交流科目群	2年	調理実習II	1	平島 円	三重の郷土料理・行食事食
	2年	食品学	2	磯部 由香	三重の農林水産物についての特徴
地域イノベーション学科目群	3年	食物学実験	1	磯部 由香	三重の農林水産物の成分分析
	3年	食品材料学	2	磯部 由香	三重の農林水産物を使った商品開発

ねらい：地域とものづくり(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	技術学概論	1	松岡 守、魚住 明生 松本 金矢、中西 康雅	三重のものづくりと教育
	2~4年	工場見学	1	松岡 守	三重のものづくり産業の理解
地域実践交流科目群	1年	教育実地研究基礎	1	魚住 明生	三重のものづくり教育に関する連携
	4年	教職実践演習	2	松岡 守、魚住 明生 松本 金矢、中西 康雅	三重のものづくり教育に関する連携
地域イノベーション学科目群	1年	機械工学概論	1	松本 金矢	機械に関するプロジェクト
	1年	電気工学概論	1	松岡 守	電気に関するプロジェクト
	1年	木材工学概論	1	中西 康雅	木工に関するプロジェクト
	1年	金属加工学概論	1	中西 康雅	金属に関するプロジェクト
	1年	情報工学概論	1	非常勤講師	情報に関するプロジェクト

ねらい：三重の特別支援教育を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	特別支援教育観察参加	2	松浦 直己、菊池 紀彦、 郷右近 歩、栗田 季佳、森 浩平	三重県内を中心とした学校、施設の見学実習
	1年	教育実地研究基礎	2	松浦 直己、菊池 紀彦、 郷右近 歩、栗田 季佳、森 浩平	三重県の小・中・特別支援学校の見学実習
	1~2年	障がい学生支援実践	2	栗田 季佳 他	三重県内で活躍する方を講師に迎え、障がいについての実践的学習を行う。
地域実践交流科目群	2~4年	知的障害者の教育と福祉	2	栗田 季佳、森 浩平	三重県内で自立生活を送る方々をゲストスピーカーに迎え、共生に向けての課題について議論する
地域イノベーション学科目群	4年	教育実地研究	1	松浦 直己、菊池 紀彦、 郷右近 歩、栗田 季佳、森 浩平	三重県内の小中学校における特別な支援を必要とする児童生徒への支援
	4年	教職実践演習	2	松浦 直己、菊池 紀彦、 郷右近 歩、栗田 季佳、森 浩平	三重県立特別支援学校における児童生徒への支援

ねらい：健康と教育に関わる体育・運動・スポーツ(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	スポーツ健康科学概論	2	スポーツ健康科学担当教員	三重の体育・運動・スポーツの特色
地域実践交流科目群	1年	教育実地研究基礎	2	保体教員	三重の子供における健康と運動・スポーツ
	1年	レクリエーションスポーツ	1	大隈 節子	三重における保健体育教員の人材育成
地域イノベーション学科目群	1~2年	野外運動I	1	岡野 昇	三重における野外運動の実際
	2年	衛生学及び公衆衛生学	2	重松 良祐	三重の成人の運動・スポーツの特色
	2~3年	健康管理学	2	富樫 健二	三重の子供の運動・スポーツの特色
	3~4年	健康管理学演習	2	富樫 健二	三重における子供の運動不足解決
	3~4年	衛生学及び公衆衛生学演習	2	重松 良祐	三重における成人の運動不足解決
4年	教職実践演習	2	岡野 昇、加納 岳拓	三重における保健体育教員の人材育成	

## 医学部

ねらい：三重地域で活躍できる医療人材の育成及び地域医療への貢献を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	医学医療B(テーマ:臨床医学最近の話題)	2	影山 慎一 他	
	1年	医学医療B(テーマ:急病の観察と判断)	2	丸山 一男	
	1年	医学医療入門	2	福録 恵子 他	
	1年	国際保健と地域医療	2	堀 浩樹 他	
地域実践交流科目群	1年	医療と社会	4	竹村 洋典 他	
	3年	社会と医学	3	笠島 茂、村田 真理子 那谷 雅之 他	
地域イノベーション学科目群	1~2年	地域基盤型保健医療教育実習	4	堀 浩樹 他	
	4~6年	臨床実習	60	各診療科教員	

ねらい：地域特性に応じた健康活動における看護師の役割を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	食生活論	1	樋廻 博重	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に相応しい生化学・栄養学の知識を持つ学生が対象。
	1年 2年	医学医療入門 災害看護学	2 1	福録 恵子 他 西出 りつ子 他	※他学部学生の受講可。但し、当科目の受講に意欲的な学生が対象。
地域実践交流科目群	2年	小児看護学II	1	村端 真由美 仁尾 かおり 他	※他学部学生の受講不可。 喘息キャンプ・糖尿病キャンプへの参加が単位取得必須条件となる。
	3年 3年	成人看護学実習II 老年看護学実習II	4 2	辻川 真弓 他 磯和 勲子 他	※他学部学生の受講不可。
地域イノベーション学科目群	4年	看護システム論II	1	宮田 千春 他	※他学部学生の受講不可。
	4年	統合実習I	2	統合実習I担当教員 他	※他学部学生の受講不可。

ねらい：地域特性と健康レベルに応じた健康支援活動を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1~2年	医学医療C (テーマ:現代社会と健康)	2	仁尾 かおり 他	
	2年	災害看護学	1	西出 りつ子 他	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な学生が対象。
地域実践交流科目群	2年	公衆衛生看護学I	3	畑下 博世 西出 りつ子 水谷 真由美	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な学生が対象。
	2年	精神保健看護論	1	片岡 三佳 他	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な学生が対象。
	3年	公衆衛生看護学II	4	西出 りつ子 畑下 博世 水谷 真由美	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な学生が対象。
地域イノベーション学科目群	4年	統合実習I(地域看護学)	2	西出 りつ子 畑下 博世 水谷 真由美	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な学生が対象。

## 工学部

ねらい：三重地域の交通機械の先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
	1年	機械工学フレッシュマンゼミナール	1	各教員	
	1年	機械運動学	2	野村 由司彦	
	1年	交通機械	2	竹市 直、松本 光一郎 川辺 真希子	
地域実践交流科目群	3年	工場実習	1	各教員	
	1~3年	工場見学	1	各教員	
地域イノベーション学科目群	3年	生産システム工学	2	田中 信弥、山本 直樹 石井 裕、長谷 浩一	
	3年	知的財産権概論	1	狩野 幹人、八神 寿徳	
	3年	環境流動学	2	安藤 俊剛	
	3年	流体機械システム工学	2	鎌田 泰成	
	3年	精密工学	2	高橋 裕	
	3年	計測工学及び演習	2.5	早川 聡一郎	
	3年	数値熱流体力学	2	辻本 公一	
	3年	機械設計	2	鈴木 実平	
	3年	エネルギー変換工学II	2	廣田 真史	

ねらい：三重地域の電気電子工学関連産業の先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	3年	企業見学	1	各教員	
	3年	インターンシップI	1	各教員	
	3年	インターンシップII	2	各教員	
地域イノベーション学科目群	3年	半導体工学	2	平松 和政	
	2年	材料科学	2	三宅 秀人、松井 龍之介 青木 裕介、元垣内 敦司	
	3年	情報通信工学	2	小林 英雄	
	2年	計算機工学I	2	高瀬 治彦	
	3年	計算機工学II	2	鶴岡 信治	
	3年	制御工学I	2	弓場井 一裕	
	2年	電気機器工学	2	石田 宗秋	
	3年	電気電子工学特別講義I	1	各教員	
	3年	電気電子工学特別講義II	1	各教員	

ねらい：三重地域の化学産業の先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	3年	工場見学	1	各教員	
	3年	インターンシップ	1	那須 弘行	
地域イノベーション学科目群	3年	資源利用化学	2	金子 聡	
	3年	工業化学概論	2	横森 万 他	
	3年	分子素材工学特別講義I	1	古川 博章	
	3年	分子素材工学特別講義II	1	川端 成彬	
	3年	分子素材工学特別講義III	1	横森 万	
	3年	分子素材工学特別講義IV	1	熊谷 純	

ねらい：三重地域のまちづくりと防災に貢献する。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	3年	まちづくり工学	2	浦山 益郎、浅野 聡	
地域イノベーション学科目群	3年	建築学実習	1	全教員(建築学科)	
	3年	地域計画	1	浦山 益郎	
	3年	建築防災工学	2	畑中 重光、花里 利一	
	2年	都市設計	2	浅野 聡	
	2年	ファシリティマネジメント	2	加藤 彰一、大月 淳	
	4年	建築企画設計	2	各教員	

ねらい：三重地域の人工知能や感性価値志向型の先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	3年	工場見学	1	各教員	
	3年	インターンシップI	1	各教員	
	3年	インターンシップII	1	各教員	
地域イノベーション学科目群	2年	人工知能I	2	井須 尚紀	
	3年	人工知能II	2	河合 敦夫	
	3年	情報工学実験I	2	各教員	
	3年	情報工学実験II	2	各教員	

ねらい：三重地域の先端材料活用産業および環境・エネルギー関連産業における先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	地域志向科目群から選択
地域実践交流科目群	3年	工場実習	1	各教員	
	1~3年	工場見学	1	各教員	
地域イノベーション学科目群	4年	特別講義II	1	狩野 幹人、八神 寿徳	
	3年	特別講義I	2	各教員	
	4年	量子物理学	2	松永 守	
	3年	材料科学	2	伊藤 智徳	
	4年	物性物理学	2	内海 裕洋	
	3年	トライボロジー	2	中村 裕一	
	3年	電磁気学II	2	竹尾 隆	
	3年	アナログ電子回路工学	2	藤原 裕司	



## 生物資源学部

ねらい:地域特性に応じた主に農業に必要な基礎知識を習得するとともに、それら知識の現場への普及を実習により学ぶ。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	フィールドサイエンスセンター農場実習III	1	奥田 均、長菅 輝義、三島 隆	
		フィールドサイエンスセンター農場実習IV	1	沼本 晋也	
	1年	食料・資源経済学I	2	中島 亨	
	2年	農林学総論	2	石川 知明、長屋 祐一	
地域イノベーション学科目群	2年	作物学	2	梅崎 輝尚	
	2年	園芸学	2	平塚 伸	
	2年	森林利用・情報学	2	石川 知明、板谷 明美	
	2年	森林・緑環境計画学	2	松村 直人	どちらか一つを選択
	2年	森林・緑環境計画学	2	松村 直人	

ねらい:地域特性に応じた主に林業に必要な基礎知識を習得するとともに、それら知識の現場への普及を実習により学ぶ。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	フィールドサイエンスセンター演習林実習VI	1	沼本 晋也	
	2年	フィールドサイエンスセンター農場実習III	1	奥田 均、長菅 輝義、三島 隆	
		1年	食料・資源経済学I	2	中島 亨
地域イノベーション学科目群	1年	農林学総論	2	石川 知明、長屋 祐一	
	2年	森林利用・情報学	2	石川 知明、板谷 明美	
	2年	森林・緑環境計画学	2	松村 直人	
	2年	作物学	2	梅崎 輝尚	
	2年	園芸学	2	平塚 伸	どちらか一つを選択

ねらい:地元の食と農に関わる実践者のオムニバス授業である生物資源学Aをコア科目としてPBL、講義、演習を重ね、地産地消を志向する食と観光の有機把握を目指す。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	生物資源学A(テーマ:食と農)	2	波多野 豪 他	教養教育科目
	1年	食料・資源経済学I	2	中島 亨	
地域実践交流科目群	2年	グローバル資源利用学チュートリアル	2	松井 隆宏 他	
	3年	社会調査演習	4	徳田 博美 他	
地域イノベーション学科目群	3年	地域社会論	2	波多野 豪	
	3年	水産経済学	2	常 清秀	

ねらい:簿記会計、経済学、統計学の知識を身につけたうえで現場に足を運び、多角的な視点から問題解決方法を探る。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	社会調査演習	4	徳田 博美 他	
	1年	食料・資源経済学I	2	中島 亨	
地域イノベーション学科目群	3年	簿記会計演習II	2	平岩 勇一(非常勤)	
	3年	食料・資源経済学II	2	松井 隆宏	
	3年	農林統計学	2	山田 佳廣 他	

※インターンシップは、農林水産業の現場へ行くこと。

ねらい:観光資源として魅力的で良好な農村環境を創造しながら、国際競争力のある生産性の高い食料生産基盤を整備できる人材の育成を目指す。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	フィールドサイエンス実習	1	加治佐 隆光 他	
	3年	実践農業土木学	2	農業土木学教育コース主任	
	3年	公共事業インターンシップ	1	農業土木学教育コース主任	
地域イノベーション学科目群	3年	農業土木学キャリアアップ演習	2	農業土木プログラム主任	

ねらい:自然と人からなる地域をシステムとして理解し、自然エネルギーを利活用した持続的なシステムを構築できる人材の育成を目指す。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	未来地球システム学	2	坂本 竜彦	
	2年	生物情報工学	2	亀岡 孝治	
地域イノベーション学科目群	2年	ローカル気象学	2	立花 義裕	
	3年	環境計測実験	1	伊藤 良栄 他	

ねらい:地域産業である農業は、低環境負荷型生産システムにより生産性を維持・向上させることが重要である。本カリキュラムでは、自然エネルギーの利用と生産システムの構造を理解し、地域の農業を魅力ある産業として創造できる人材養成を目指す。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	エネルギー利用学	2	鬼頭 孝治	
	2年	ベンチャー企業論	2	小村 道昭(非常勤)	
地域イノベーション学科目群	3年	食料生産システム学	2	佐藤 邦夫	
	3年	農業食料工学実験	1	環境情報システム学講座教員	

ねらい:地域における水やエネルギー、物質の循環と生態圏の関わりを理解し、健康で持続的な環境づくりに貢献できる人材の育成を目指す。(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	生物地球化学	2	松尾 奈緒子	
	2年	植物・土壌と水	2	渡辺 晋生	
	2年	環境土壌学実験	1	渡辺 晋生 他	
地域イノベーション学科目群	3年	フードシステム学	2	亀岡 孝治	

ねらい:地域・全球スケールでおこる異常気象や自然災害のしくみを理解し、地域の防災・安全に貢献できる人材の育成を目指す。(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	陸海空・環境科学実習	1	松村 直人 他	
	2年	気象・水文・水資源学	2	葛葉 泰久	
地域イノベーション学科目群	3年	自然災害科学	2	葛葉 泰久	
	2年	ローカル気象学	2	立花 義裕	

ねらい:学生の食、特に我が国の食料として重要な位置を占める魚介類の持続的生産および流通に対する関心を高め、地域の特性を活かした生産と消費について考える力を涵養する。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	魚類種苗生産学実習	1	吉岡 基、淀 太我	
	2年	藻類学	2	倉島 彰	
地域イノベーション学科目群	2年	水産学総論	2	海洋生物資源学教育コース教員	
	3年	水産飼料科学	2	吉松 隆夫	
	3年	水産経済学	2	常 清秀	

ねらい:健康を目指し、地域資源を用いた機能性食品やサプリメントを創成するための人材養成カリキュラム(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	食品化学	2	磯野 直人	
	3年	栄養化学	2	西尾 昌洋	
地域イノベーション学科目群	3年	生命機能化学実験実習6	1	生命機能化学講座教員	
	3年	生物プロセス工学	2	非常勤講師	

ねらい:地域資源を用いた機能性食品やサプリメントを創成するための人材養成カリキュラム(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	微生物学	2	菊田 修一、木村 哲哉	
	2年	微生物利用学	2	福崎 智司、菊田 修一、木村 哲哉	
地域イノベーション学科目群	3年	食品工学	2	橋本 篤	
	3年	生命機能化学実験実習6	1	生命機能化学講座教員	

ねらい:学生の食に対する関心を高め、食品の安全につながる品質および衛生管理について学ぶ。また、水産加工製品の製造原理を理解し、品質管理および食品衛生への実践的思考を養う。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	マリンフードプロセス実習	1	福崎 智司、青木 恭彦	
	3年	海洋生命分子化学実験3	1	福崎 智司、青木 恭彦	
地域イノベーション学科目群	2年	水産食品衛生学	2	青木 恭彦	
	2年	微生物学	2	菊田 修一、木村 哲哉	
	3年	食品安全化学	2	亀井 誠	

ねらい:遺伝子操作や微生物単離などのバイオテクノロジーにおける基礎的理論と研究方法について理解する。また、バイオリファイナー技術の応用例やその実践について学ぶ。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	海洋生命分子化学実験3	1	田丸 浩、柴田 敏行	
	3年	マリンフードプロセス実習	1	福崎 智司、青木 恭彦	
地域イノベーション学科目群	2年	遺伝子工学	2	田丸 浩	
	3年	バイオインフォマティクス	2	船原 大輔	
	3年	海洋資源微生物学	2	田中 礼士	

# 副専攻コースにおける相談窓口・提出窓口

副専攻コースを履修するうえで、困ったことがあれば下記の問い合わせ窓口ご連絡してください。

三重創生ファンタジスタ資格副専攻コース全般に関する  
相談窓口・提出窓口

## 三重大学地域人材教育開発機構

所在地:三重大学 総合研究棟Ⅱ 3階 地域人材教育開発機構チーム事務室

TEL. 059-231-9940

(事務:学務部地域人材教育開発機構チーム 天池・矢田・杉浦)

Mail. [fantasista@cocpls.mie-u.ac.jp](mailto:fantasista@cocpls.mie-u.ac.jp)

履修に関すること、就職に関すること等、適切なアドバイザーにお繋ぎします。

## 地図



## 三重創生ファンタジスタクラブ

三重創生ファンタジスタクラブとは、学生主体で三重県の地方創生に取り組む現場に入り、三重県の活性化に挑戦している団体です。三重創生ファンタジスタを目指すなかで、授業とは関係なく実際に地域に入ること、地域の課題をより身近に感じることができます。

地域活動に興味のある方はぜひ三重創生ファンタジスタクラブに参加してみてください。

三重創生ファンタジスタクラブへの参加を希望する場合は下記のURLまたはQRコードから登録フォームへアクセスし、登録を行ってください。

<https://portal.mie-u.ac.jp/moodle2/mod/questionnaire/view.php?id=87633>



活動の様子

また、地域創発センターHPの「学生ブログ」やTwitterでも三重創生ファンタジスタクラブの活動を随時報告しているので興味のある方はご覧ください。「学生ブログ」は下記のURLまたはQRコードからご覧いただけます。

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/blogs-by-students/>

<https://twitter.com/MieSFC?lang=ja>



【学生ブログ】



【Twitter】

## 三重創生ファンタジスタ資格啓発動画

三重創生ファンタジスタ資格を取得した学生が実際に企業の採用面接を受ける際、どのような流れになるかを示した動画を作成し、県内企業等が閲覧することができるよう地域創発センターHPにアップロードされています。学生にとっても、実際に面接で資格について質問された際の参考になりますので、ぜひ一度ご覧ください。

動画ページは以下のURLまたはQRコードからアクセスできます。

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/about/qualification-enlightenment-picture.html>



# Q&A

よくある質問

三重創生ファンタジスタ  
資格認定副専攻ガイド

## Q.1

**Q** 副専攻コースの登録手続きはどのように行えば良いですか。

**A** 三重大学Moodle2の「三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コース意向届提出フォーム」で必要項目に回答してください。または、三重大学地域創発センターHP「三重創生ファンタジスタ資格」から意向届の書式をダウンロードし、地域人材教育開発機構チーム事務室に直接持参してください。「三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コース意向届提出フォーム」へはこちらのQRコードからアクセスできます。



## Q.2

**Q** 登録することを今は迷っています。例えば2年次以降に登録したくなった場合、認められないのでしょうか。

**A** 登録手続きはいつでも可能です。ただし、登録にあたり説明すべきこと、注意点等が多々ありますので、地域人材教育開発機構チーム事務室へ相談に来てください。

## Q.3

**Q** 最初の意向届提出時は、「食と観光」分野で登録を希望しましたが、12単位揃えた後、他の分野の資格を目指した場合、どちらも資格認定されますか。

**A** 複数の分野で資格認定は可能です。ただし、意向届提出時に分野を登録するため、別の分野の資格認定を目指す場合は、再度意向届を提出してください。「学びの振り返り・成果」も申請分野数分必要になります。また、以下のことに注意してください。

複数の分野で資格取得を目指す場合

地域志向科目群	複数の分野で重複しても構いません。
地域実践交流科目群	複数の分野で重複することは認められません。
地域イノベーション学科目群	複数の分野で重複することは認められません。

三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コースへの登録を希望する方はこの用紙を切り取り、総合研究棟Ⅱ 3階地域人材教育開発機構チーム事務室までお持ちいただくか、表面の URL または QR コードから「三重大学 Moodle2 三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コース登録フォーム」へアクセスし登録を行ってください。

相談・提出窓口：地域人材教育開発機構チーム事務室（総合研究棟Ⅱ 3階）  
TEL:059-231-9940 学務部地域人材教育開発機構チーム 天池・矢田・杉浦  
Mail:fantasista@cocpls.mie-u.ac.jp

## 平成30年度三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コース

### 意向届

私は、以下のとおり「三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コース」に登録を希望します。

(フリガナ) 氏名：	学部・学科： 学籍番号： 登録する分野：食と観光、次世代産業、医療・健康・福祉 登録する分野に○をつけてください
<b>テーマ・学びのねらい</b> 例：三重県の〇〇について考える、三重県の〇〇の現状・課題を知る等	
<b>三重創生ファンタジスタ資格を希望する理由（志望動機）</b> 例：将来三重県で働きたいから、三重県のことを知りたいから等	

今後意向届提出者向けにこちらからイベント情報などをお知らせする時は、学籍番号で割り当てられた本学のメールアドレスにお知らせします。

また、三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コースへの登録は「三重大学 Moodle2」からも可能です。登録を希望する方は下記の URL または QR コードからアクセスし登録を行ってください。

<https://portal.mie-u.ac.jp/moodle2/mod/questionnaire/view.php?id=86436>



切り取り

# Q&A

## よくある質問

三重創生ファンタジスタ  
資格認定副専攻ガイド

### Q.4

**Q** 副専攻コースの必要単位数以上修得した場合、その単位はどうなるのでしょうか。

**A** 副専攻コースの単位としては認められても、卒業単位として認められるかどうかは、所属学部の履修要項に基づきます。詳しくは、所属学部の学務担当に確認してみてください。

### Q.5

**Q** いつの時点で副専攻コースを修了したことになるのでしょうか。例えば、3年間で副専攻コースに必要な単位数を修得し、「学びの振り返り・成果」が認められた場合、その時点で認定されますか。

**A** 修了に何年かけるかは自由ですが、必要単位数を満たしていても、副専攻コースは卒業が決定した時点で修了になりますので、それまでは正式に修了したことにはなりません。但し、「三重創生ファンタジスタ資格取得見込証明書」は発行されますので、必要であれば申請してください。

### Q.6

**Q** 他学部生に開放されている科目を受講した場合でも、三重創生ファンタジスタ資格の対象科目になるのでしょうか。

**A** 三重創生ファンタジスタ資格の対象科目になります。ただし、他学部の授業は卒業単位にならない可能性があるため、所属学部の学務担当に確認してみてください。